

みんなでつくろう！ようかいちのまち

八日市
コミセンHP



八日市まち協だより

第78号

令和8年3月発行

八日市地区まちづくり協議会が

わくわくころぼ村

に出展



八日市ふるさと絵屏風からカルタをつくりました



八日市地区の素敵なスポットを紹介しよう
あなたの“好き”を発信しませんか？
八日市地区Instagramメンバー募集中

「この景色、きれい！」
「このお店、みんなに知ってほしい！」

そんな八日市地区の“とっておき”を、Instagramで紹介してみませんか？
写真が好きな方、まち歩きが好きな方、八日市地区が好きな方大歓迎。
一緒に地域の魅力を発信してくださる方を募集しています。

八日市地区まちづくり協議会のエリアは
八日市駅を中心とした地域です。(東本町、八日市町、浜野、金屋、清水、八日市緑町) このエリアの情報を発信してくださる方を募集します！

詳細はお気軽にお問い合わせ下さい
八日市地区まちづくり協議会
TEL 0748-23-4120
MAIL hcom1920@e-comi.ne.jp

申込みはこちら

八日市地区の素敵なスポットを紹介しよう
あなたの“好き”を発信しませんか？
八日市地区 Instagram メンバー募集中

わくわくころぼ村でもメンバーを募集しました。
今後も引き続き募集します。興味のある方は二次元コードまで。





はちのひカフェ

日時 毎月8日 9:30 ~ 11:30
場所 八日市コミュニティセンター
参加費 100円 (一人)



八日市の「八」にちなみ、毎月8日、八日市コミュニティセンターを会場に「はちのひカフェ」を開いています。年齢問わず、地区内のどなたでも参加いただけます。

地域の皆さんが、月に1度でも顔を合わせ、思い思いに楽しく過ごせる場ができればという思いで開催しています。毎回参加ごとにテーマを決め、飲み物やお菓子を用意しています。ぜひ、楽しみにお越しください。

好きな時間に来て、好きな時間にお帰りいただくことができます。時間の許す限り、ゆっくりしてってください。

お一人でも気軽に過ごせるスペースを考え中！！

金屋 冬の天体観測会

「かまどベンチ」で火起こし・白玉ぜんざい

1月24日(土)、金屋ふれあい広場で金屋女性会主催による冬の天体観測会を行い、50人ほどが集まって楽しみました。全国的に寒波到来の中でしたが、この日だけは晴れ間も見え、実施を決定。自治会の役員さんが広場の雪かきをし、「かまどベンチ(普段はベンチ、いざというときには竈(かまど)として使えるすぐれものの防災備品)」の火起こしをしてくださいました。今回は白玉ぜんざいをふるまい、好評でした。天体観測は雲の合間の観測となりました

が、望遠鏡で三日月、土星、木星を見ることができました。寒い中でしたが、子どもたちは広場で元気に遊んだり走り回ったり、大人たちは話に花が咲きました。天体観測を楽しみつつ、「かまどベンチ」で暖をとりながら、大人も子どもも集まって地域の和やかな交流ができました。



荒川貴美代

令和7年度普通救命講習会

八日市地区まちづくり協議会防災プロジェクトでは、令和8年1月25日（日）八日市コミュニティセンターホールで普通救命講習会を開催しました。八日市消防署救急広報係を講師として迎え30名余りが参加しました。救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動）と、気道異物除去や止血法などの応急手当の知識とスキルを学びました。

普通救命講習は繰り返し参加する事で、いざ人命救助に遭遇しても勇気をもって立ち向かう事ができ、大切な人や家族の尊い命を守ることにつながると思います。今後も地域の防災力向上のため、防災プロジェクトの事業への積極的な参加をお願いいたします。



松村栄士

総務省のデータベースによれば、日本には793の市、743の町、そして183の村が存在する。（令和6年10月1日現在）そしてこれらは合併の号令の下で、毎年、更新を繰り返し続けるのである。

最新版の「市」のデータベースに対して、「漢数字で始まる市名」を条件に検索すると、47の市名がヒットする。この47市を漢数字順に並べ直すと、[三]が13市、[八]が11市と他の漢数字を圧倒する。さらに検索条に「日」を追加して再検索すると、[十日町市]（新潟県）、[四日市市]（三重県）、[廿日市市]（広島県）のわずか3市がヒットする。合併により既に消滅している[八日市場市]（千葉県 現匝瑳市）、[八日市市]（滋賀県 現東近江市）を加味しても、定期市の名前の由来を残す貴重な市名だと云えそうである。

太郎坊山麓の天台宗成願寺の本尊は薬師如来で、その縁日の8日に、門前町であった小脇町宿で定期市が開かれた。これが「八日市市」の名称

あれやこれや

其の三十四

特別な数字（八）

の由来とされる。縁日とは神仏の降誕、誓願等が有縁日で、この日に参詣すると御利益が増すとされる。8日以外にも15日の阿弥陀如来、24日の地藏菩薩が有名である。

2008年8月8日午後8時8分8秒と8づくしで、北京オリンピックが開会された。中国で8は金持ちになることを表わす発財の発と同音であり、最も好まれる。超高級車のナンバーや金持ちの電話番号はほぼ8のゾロ目といわれる。日本でも漢数字の八は末広がりとして好まれる。また、日本においては漢数字で四は死に通じ、九は苦を連想して好まれないが、中国においても4は日本同様に嫌がられるが、9は永久を表わす久と同音なのでむしろ好まれる。

森野吉雄さん

筆者からのお知らせ

私事で恐縮ですが、健康上の理由で「あれやこれや」は今回をもって休止とさせていただきます。9年余りのご愛読ありがとうございました。

片言隻句

通学路での見守りの風景を目にしたことはありますか。三月になって朝の空気はまだ冷たく、小学生たちは登校班で、いつもの道を歩いています。交差点や横断歩道には「スクールガード」と呼ばれる地域ボランティアの方々が立ち、行きも帰りも子どもたちを見守ってくださっています。「いつてらっしやい」「おかえり」という声に、子どもたちは安心した様子で歩を進めていきます。雪の日も風の日も、目立つことはなくとも、その見守りは毎日の通学を静かに支えています。地域の大人の存在が、子どもたちの背中をそっと押しているように感じられます。振り返れば、今年成人式を迎えた長女が小学生だった頃も、この道には変わらぬ見守りの姿がありました。今は三女が、その眼差しに支えられながら通学しています。

春は、卒業や進級・入学と、別れと出会いが重なる季節です。この通学路を巣立つ子がいる一方で、新しい学年に胸をふくらませ、この道を歩き始める子もいます。学年の終わりと始まりにあたり、地域の大切な役割として、日々見守りを続けてくださっているスクールガードの皆さんに、心から感謝をお伝えします。



中村敦美

編集
発行

八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンター内
IP電話 050-8034-1141 電話・FAX 23-4120
E-mail 8comi920@e-omi.ne.jp



Instagram



LINE



Facebook



まごころ

発行：八日市地区社会福祉協議会・八日市地区民生委員児童委員協議会 令和8年3月

障害者福祉合同研修

『きこえない・きこえにくいって
どういうこと?』

昨年9月29日、八日市地区民生委員児童委員協議会との合同で、聴覚障害者福祉研修を実施しました。

研修では「きこえない・きこえにくいってどういうこと?」をテーマに、東近江市聴覚障害者協会の手話チームより、聴覚障害当事者の方と手話通訳者2名をお招きし、お話を伺いました。

聴覚障害と一口に言っても、個人差が大きく、原因もさまざまです。先天的な場合もあれば、事故・病気・加齢などによる後天的なケースもあります。また、「ろう者」という言葉は、単なる聴力の状態を指すだけでなく、当事者のアイデンティティとしての自己認識とも深く関わっています。

日常生活での困りごととして、電車の遅延など突発的な出来事に対して音声情報が得られず、状況把握が難しいことや、複数人での会話に入りづらいことなどが挙げられました。サポートされる場合には、相手の顔を見てはつきり話すこと、筆談では簡潔でわかりやすい文章を心がけることが、伝わりやすさのポイントだそうです。

ろう者にとって手話は第一言語であり、日本語や英語などと同様に、伝わりやすさや伝わりにくさがあります。特に、表情や身振り手ぶりの重要性は、日本語以上に大きな役割を果たします。

現在、東近江市には手話を使用されるろう者が約60人、きこえない・きこえにくい人は約300人生活されています。

もし手話に興味を持たれたら、他言語を学ぶように、手話を学んでみてはいかがでしょうか。

地区社協研修 地域包括支援センター

地区社協では、ご興味のある方はどなたでも参加していただける無料の研修や講座を実施しています。2月には、『知って安心！地域包括支援センター』と題し、センター長の池山 紘一さんからお話を伺いました。高齢者の介護や暮らしの困りごとなど、当事者や家族からさまざまな相談を受け、解決に向けた支援を行う包括支援センターについて、どんなときにどんな相談に行けばよいか、実際の事例なども交えてお話いただきました。

《シニアクラブ支えあい募金》

今年度より「支えあい募金」と名前が変わりました。今年度も、年末に八日市地区シニアクラブ連合会さまより募金のご寄付をいただきました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。